

年頭のごあいさつ

南部町長 佐野和広

新年明けましておめでとうございます。
町民の皆様には、健やかにて新しい年を迎えられた事と存じます。

昨年は、世界各地で大きな「つねり」が生じた年であったと思います。その筆頭はアメリカでのトランプ政権の成立でありました。選挙期間中での発言から今後どのような政策を打ち出してくるのか世界中が警戒感を持って注視していると思います。また、トランプ大統領就任がロシアの対日姿勢に微妙な変化をもたらしてくると考えられますし、隣の韓国での朴槿恵大統領の退陣が今後の日韓関係にも大きな影響を及ぼしてくると思われれます。

EUからの離脱を決めた英国や首相交代によるイタリヤの今後も気になりますし、最近の「極右」勢力の台頭が顕著の中、今年ドイツ・フランスをはじめ欧州も選挙Yearとなりますが、その結果によつては世界秩序が大きく変わる年になるかもしれません。

さて、我が国は憲法改正・カジノ法案・北方領土・TPP・尖閣・北朝鮮対応など解決すべき諸問題があります。他国に比べて政治的には安定していると思えます。しかし、内政に眼を転じますと国の屋台骨・根幹をなす地方自治体にとりましては、予想をはるかに超える少子・高齢化に対処する必要があります。舵取りが難しくなってきました。

本町におきましては、平成29年度中に開通を見越しておりました中部横断自動車道が作業上の種々の問題発生により、2年遅れとなりました。本町の活性化の起爆剤となる道の駅のオープンが遅れるのは大変な痛手ではありますが、若干の修正を加えなが

らも当初の計画通りに事を進めてまいります。建物の財源となる有利な合併特例債を充当させる為に、今年度中には完成させなければなりません。

次に国からの払い下げを受け購入した富沢野球場横へのドラッグストアの進出ですが、周辺の整地や町道の整備も進み、建物は2月中には完成し早ければ3月中にはオープンする予定です。なお、隣の公園は町民の皆様が有効活用をさせていただければと思っております。

それから、定住化対策の一環であります旧万沢中グラウンドの宅地分譲ですが、早ければ今月中に価格決定を行ない10区画（1区画70〜80坪）の売り出しにかかります。入居には種々の条件がありますが、住環境は大変良いと思います。

また、廃校の活用策として旧万沢保育所を介護施設として利用します。国の制度改正により、これからは要支援1、2の方のサービスの提供は各自自治体で行なう事が義務づけられてきますので、そのモデルケースとして、県内の町村では最初のスタートとなります。1階を要支援1、2の方のサービス、2階は健康な方も含めた体操教室等を定期的に実施しようと思っております。この事業はこれから、睦合・栄・富河地区へも広げていければと考えております。

次に防災対策ですが、昨年は熊本・鳥取など思いもかけない場所での地震が発生しました。有事に対する備えは行政の重要課題ですが、その中でも多くの住民を収容できる安全な避難所の確保は必要不可欠です。町内最大の施設であるアルカディア体育館は多くの方が利用しておりますが、大変危険な吊り

天井があります。改修には相当の費用を要しますが、住民の生命には換えられません。有利な補助金の活用をさぐりながら早く改修にかかるともります。

それから、皆さんの生活に直結する国保についても言及します。平成23年、平成26年と3年毎に税率改正を行ってきましたが、厳しい財政の中ではありますが、平成29年度の値上げは見送ります。医療費の増加は続いておりますので、「なんぶ健康会議」での広報活動を多いに活用し、健康寿命の増進・維持に皆さんが努めていただきたいと思います。

ここで農業についても一言 触れておきます。ここ数年NPO法人や食生活改善の人達を中心に特産品の生産・製造の動きが見られます。遊休農地の活用や地域活性化の為に大変喜ばしいことですので、町としても積極的な支援をしてまいりたいと考えております。

それから、昨年から教育委員会・学校教育課による小学校の統廃合の説明会を各学校単位で行ってきましたが、今年度はもう少し小規模での説明会を開催します。皆さんからの意見を集約して年末までには、町としての結論を出したいと考えています。

まだまだ話したいことはありますが、本年はこれまで手掛けてきた事業を結果として残せる様に着実な歩みをつけてまいります。ぜひとも、町民の皆様のご理解、ご協力をお願い致します。

結びに本年が町民の皆様にとりまして、良い年でありますことをお祈り申し上げます。年頭に当たつての挨拶と致します。

「南部警察署・南部町消防団による町内防犯診断実施結果」

平成28年度（診断実施日：平成28年12月6日夜間）		平成28年度	平成27年度		
実施 件数	一般住宅診断総件数	2,746件	(2,724件)		
	事業所等診断総件数	220件	(163件)		
	駐車車両診断総件数	1,073件	(1,636件)		
	計	4,039件	(4,541件)		
指導 件数	一般住宅	玄関・勝手口の施錠状況	無施錠	201件	(179件)
		敷地内駐車車両の施錠状況	無施錠	257件	(240件)
			車両内への貴重品等の放置	7件	(0件)
		建物周囲に可燃物はないか	ある	26件	(34件)
	計		491件	(453件)	
	事業所等	玄関・勝手口の施錠状況	無施錠	3件	(13件)
		敷地内車両の施錠状況	無施錠	17件	(47件)
			車両内への貴重品等の放置	0件	(0件)
		建物周囲に可燃物はないか	ある	1件	(2件)
	計		21件	(60件)	
	駐車車両	住宅及び事業所等駐車場以外の 駐車車両の施錠状況	無施錠	11件	(25件)
			車両内への貴重品等の放置	0件	(0件)
		計		11件	(25件)

刑法犯の約7割が窃盗犯罪で、私たちの身近な生活空間で発生しています。

町内防犯診断（夜間）は、防犯という視点から、「安全で安心なまちづくり」を推進していく取組みの一環として、毎年、南部警察署と南部町消防団の協働連携により、実施しています。

空き巣、電話詐欺など身近な犯罪を抑止し、犯罪のない地域社会の実現を目指すためには、町民一人ひとりが防犯意識を高く持つことが重要で、犯罪を未然に防ぐことに繋がります。近年、住宅等を対象とした侵入犯罪は依然高い水準にあり、財産だけでなく身の危険を伴うこともあります。町民の皆様には、お出かけ前・就寝前の戸締り（住宅・自動車等）を再点検し、犯罪の起こりにくい町づくりが構築できるよう、自主防犯意識の向上と推進に努めましょう。



夜間防犯診断を実施しました